

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間の小売販売電力量は、需要数が増加したことなどから、862億kWhと前年同期に比べて5.6%増加しました。

収入面では、販売電力料収入が増加したことなどから、売上高は2,998,064百万円と、前年同期に比べて224,928百万円の増収(+8.1%)となりました。

支出面では、燃料価格の低下や原子力利用率の上昇により火力燃料費が減少したことなどから、営業費用は2,385,372百万円と、前年同期に比べて607,089百万円の減少(△20.3%)となりました。

この結果、当四半期連結累計期間の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

## 【連結経営成績】

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期(累計)	2024年3月期 第3四半期(累計)	増 減	
売上高	2,773,136	2,998,064	224,928	8.1%
営業損益	△219,325	612,692	832,018	—
経常損益	△177,789	639,414	817,204	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△124,427	351,035	475,463	—

## 【総販売電力量(小売、他社計)】

(単位：百万kWh)

	2023年3月期 第3四半期(累計)	2024年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比(%)
総販売電力量(小売、他社計)	93,294	99,173	106.3
小売販売電力量	81,585	86,166	105.6
電灯	21,024	21,342	101.5
電力	60,561	64,824	107.0
他社販売電力量	11,709	13,007	111.1

- (注) 1. エネルギー事業のうち当社にかかる数値を記載している。  
2. 総販売電力量は、提出日(2024年1月31日)現在において把握している電力量を記載している。  
3. 四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産は、設備投資額が減価償却費を上回ったものの、和歌山発電所建設計画が中止されたことなどから、前年度末に比べて17,475百万円減少(△0.2%)し、8,756,949百万円となりました。

負債は、有利子負債が減少したことなどから、前年度末に比べて394,506百万円減少(△5.7%)し、6,540,136百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益(351,035百万円)を計上したことなどから、前年度末に比べて377,030百万円増加(+20.5%)し、2,216,813百万円となりました。

これらの結果、当四半期末の自己資本比率は、前年度末に比べて4.3%上昇し、24.7%となりました。

(単位：百万円)

科目	2023年3月期末	2024年3月期 第3四半期末	増減	
資産	8,774,425	8,756,949	△17,475	△0.2%
負債	6,934,642	6,540,136	△394,506	△5.7%
(うち有利子負債)	(5,009,408)	(4,582,406)	(△427,002)	(△8.5%)
純資産	1,839,782	2,216,813	377,030	20.5%

自己資本比率	20.4%	24.7%	4.3%
--------	-------	-------	------

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期(累計)	2024年3月期 第3四半期(累計)	増減	
設備投資額	275,367	280,080	4,712	1.7%
減価償却費	229,410	243,365	13,955	6.1%

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想は、2023年12月19日に公表しました数値から修正は行っておりません。